

平成 27 年度審判研修会 講師のご紹介

特別講演

目標を持つこと・挑戦することの大切さ

ホッケー 国際審判員

相馬 知恵子（そうま ちえこ）

■プロフィール

生年月日：1975 年 11 月 30 日 出身地・山梨県

《主な経歴》

1992 年 山梨県立白根高等学校入学と共にホッケーを始め、1994 年卒業。1994 年 山梨学院大学ホッケー部に入部するが、大学 2 年になり初めて審判経験をする。1996 年（大学 3 年）国内 C 級及び B 級審判員の資格を取得し、大学 4 年生から公認審判員として活動開始。1998 年 山梨学院大学卒業後、スポーツクラブのアルバイトや山梨県ホッケー協会でホッケースクール指導をしながら、国際審判を目指す。1999 年 国際審判員の International に昇格。2000 年 国内 A 級審判員に昇格。2001 年 国際審判員の Grade 1 に昇格。2002 年 国際審判員の World Panel に昇格。2006 年 結婚。2009 年 出産。

《これまでに参加した主な国際大会》

アジア大会（韓国）・ワールドカップ（オーストラリア）（2002 年）、アテネオリンピック（2004 年）、ジュニアワールドカップ（チリ）（2005 年）、ワールドカップ（スペイン）（2006 年）、北京オリンピック（2008 年）、ロンドンオリンピック（2012 年）、ワールドカップ（オランダ）（2014 年）

チームビルド・オープンマインド

公益財団法人日本オリンピック委員会 JOC キャリアアカデミー事業

アシスタントディレクター

相馬 浩隆（そうま ひろたか）

■プロフィール

公益財団法人日本オリンピック委員会 JOC キャリアアカデミーアシスタントディレクター。キャリアカウンセラー。ワークショップデザイナー。

明治大学卒業後、モーターサイクルスポーツの中央競技団体に勤務。退職後、筑波大学大学院専任研究員を経て現職。研修講師、大学院／大学非常勤講師を兼務。スポーツ選手とそのキャリア（生き方）に係る課題解決が、この 10 年の最大関心事。近年は主に教育プログラムの開発に取り組んでいる。

良い状態で試合日を迎えるために、トレーニングとコンディショニング概論

独立行政法人日本スポーツ振興センター 国立スポーツ科学センタースポーツ科学研究部
田中 章博(たなか あきひろ)

■プロフィール

2003年から10年間、フリーランスのトレーナーとしてアスリートのトレーニング指導に従事。社会人、大学生、高校生、中学生を対象に4競技、計8チームのトレーナーを歴任。

2013年より国立スポーツ科学センターハイパフォーマンスジムにて、新たな機器を使用したトレーニングや測定プログラムの提供、開発業務に従事している。

2002年 早稲田大学 人間科学部 スポーツ科学科卒業

2015年 早稲田大学 スポーツ科学研究科 修士課程1年制 修了

資格：CSCS (NSCA)、ATI (JATI)、健康運動指導士、PES (NASM)、CES (NASM)

コンプライアンス

公益財団法人日本サッカー協会

玉利 聡一 (たまり としかず)

■プロフィール

1999年3月、慶応義塾大学文学部人間関係学科卒業。1999年4月、株式会社インテリジェンス入社。2006年8月退職に至るまで、人材ビジネス業界にて営業、企画、カウンセラーとして参加。2006年9月、財団法人日本サッカー協会へ入局。現在、公益財団法人日本サッカー協会 管理部人事グループ部長代理。

その他、公益財団法人日本オリンピック委員会、スポーツ環境専門部会部会員、国連グローバル・コンパクト担当などを歴任。

コミュニケーションスキル

ローレルゲート株式会社

守屋 麻樹 (もりや まき)

■プロフィール

早稲田大学政治経済学部政治学科卒。

(株)東京銀行(現三菱東京UFJ銀行)、日本コカ・コーラ(株)、企業向け人材育成のベンチャー企業を経て、2010年に独立し、ローレルゲート株式会社設立。同社代表取締役就任。

現在は、JOCキャリアアカデミー講師としてアスリート及び指導者向けセミナーを行う

ほか、企業研修講師、セミナー講師、大学講師、プロコーチとして活動中。

プライベートでは、2004年より早稲田大学アーチェリー部ヘッドコーチを務め、2010年に監督に就任。女性の総合監督は同大学創立以来初。

株式会社アネゴ企画代表取締役

上田 雅美（うえだまさみ）

■プロフィール

東京都生まれ。Pan Pacific Institutes 英文国際秘書科卒業。総合商社総務・人事グループにて総務業務や採用サポートを経て、転職。システムエンジニアとしてチームリーダーやプロジェクトディレクターのサポートなどを経て2005年に独立。勤務時代には社内コーチとして活動し、組織にコーチングを導入する機会に恵まれる。

現在はプロフェッショナルコーチとしてビジネスリーダーのコーチング（個人・グループ）や企業経営者と共にを行う組織開発や海外進出のサポート、組織へのコーチング導入を行っている。2003年よりコーチ養成機関にてコーチ育成業務にも従事し、トレーナーとしての実績を積む。財団法人生涯学習開発財団認定コーチ、日本コーチ協会東京チャプター副代表、ファイナンシャルプランナー（AFP）。主著に、『システム開発現場のファシリテーション～メンバーを活かす最強のチーム作り～』（技術評論社）がある。